

校友会報



Contents

研究室から (教育学部)

校友インタビュー

ホームカミングデー

20周年記念事業

- ・はりま支部
- ・高田研究室

大学の様子

- ・シェアサイクル導入
- ・真備町復興支援ボランティア活動
- ・キッチンカー企画スタート♪

部活動報告

お知らせ

- ・日本学生支援機構奨学金
- ・地域連携フォーラム
- ・オープンキャンパス

卒業生との座談会

インフォメーション

- ・ひとくちメモ (大学概要)
- ・結婚式祝電サービス
- ・姓名・住所等変更届のお願い
- ・個別校友会助成のご案内
- ・入試概要



校友会



Instagram

フォローお願いします

開始しました!

大学の様子・校友会の活動等のお知らせします。
是非、ご登録ください。

https://www.instagram.com/kusw_kouyukai/
アカウント: kusw_kouyukai



「体験」が磨く 「支援者」としての感性

教育学部 保健教育学科 市橋 真奈美 准教授

思春期・青年期は、もう一人の内なる自分と出会い、人生の主人公として主体的に社会とつながって生きようとする時期といえます。自分のためだけではなく、誰かを助けたい、誰かのために役に立ちたいという気持ちからボランティア活動に積極的に取り組む学生も多くいます。私は教員として、学生がボランティア活動で体験したこと、また、体験の中で疑問に思ったことや考えたことをふと口にしたり自然と語りたくなるような「環境」の一部になるよう心がけています。具体的には、まず学生の話すことに関心をもって、そして否定せずに聴きます。それから、「そんなふう感じたのはなぜだと思う?」「これまでに同じような体験をしたことは?」「その時あなたが感じたことは?」等の問いかけをします。これは、体験を単なる体験で終わらせるのではなく、問われなければ考えもしなかったことに思い至らせ、それを言葉にすることを通じて、学生に自身の新たな一面に気づかせる関わりです。自分が他者からどう評価されるかを気にして、敢えて自ら発信しないという選択をする学生に対して、「発信してよかった」、「こんな学びがあった」と感じさせることにより、またやってみよう、チャレンジしてみようという気持ちにつながるような環境づくりをしています。

私は、「教育相談」「生徒指導論」などの授業を担当していますが、例えば授業のなかで学ぶ「傾聴」や「共感的理解」を知識レベルで留まらせるのではなく、体験的に理解させる方法を模索しています。一つのアプローチとして、ミズノ社によるプレイリーダー3級の資格を取得した学生による「忍者学校」の取り組みをあげたいと思います。この忍者学校は、「走る」「跳ぶ」「投げる」という基本的な身体活動を子どもたちに身につけさせることをねらいとして開催しています。忍者のように体を動かす楽しさを味わってもらうプログラム内容になって



ヴィクトリーナ姫路ビジネスコンテスト打ち合わせ

研究活動（専門分野）：教育臨床

研究分野（キーワード）

- 教育相談
- カウンセリング
- メンタルヘルス
- 不登校支援



いるのですが、身体を動かすことが好きな学生たちが忍者のように動きたいと願う子どもたちのためにプログラム内容を検討・協議し、回数を重ねるごとに「子ども目線」で楽しめる内容にバージョンアップさせていきます。子どもの感想や発言にしっかりと耳を傾け、子どもたちがより楽しめるように改善しようとする姿勢こそが、共感を体験的に理解することにつながるのではないかと考えています。

今後は、ボランティアに取り組む学生同士の対話をより活性化し、互いに支え合うピア・サポートの活動へと広げていきたいと考えています。



忍者学校



忍者ポーズ!!

校友インタビュー

Q 現在のお仕事について

平成29年4月より日本年金機構に勤めており、今年で勤務6年目になります。

どういったことをしている組織かという、みなさんに納めていただいた保険料を管理し、確実にお手元に届ける業務を行っている組織です。毎年みなさんに届く「ねんきん定期便」の発送業務等もを行っています。現在私は、現在国民年金に関する部署に所属しています。その中でも強制徴収といまして、保険料を滞納し、納付意思の見られない者に対して、滞納処分、いわゆる財産の差押を執行し、滞納を整理(解消)していく業務を行っています。公権力を伴う業務になりますので、法令や手順を慎重に確認したうえでの処分を執行しなければなりません。非常に高度な知識及び判断が求められる内容ではありますが、保険料を納付していただいている方々の公平性を保つことが、私たちの組織が提供できるサービスなのでやりがいのある仕事と思っております。

Q 資格取得など、現在の目標 (将来の夢)

「健康」に生きることを目標としております。仕事をするにしても、プライベートを過ごすにしても健康でなければ何もできません。そのためにも日頃から適度に運動して、食事も栄養面を考えて

摂るなど心がけて生活をしています。地味だと思われるかもしれませんが、仕事をしながらこれを継続することが意外と大変なのです。「継続は力なり」ということわざがありますが、本当にその通りで、一日や二日でおいそれとできることではありません。少しずつの積み重ねが自信となり、今のそして未来の自分を作っていきます。これからも気持ちを絶やさずに引き続き、努めていきます。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

後悔しないようにやりたいことを全てやりきることです。遊びもバイトも勉強も全て自分がこうしたいと思ったことは多少わがままなくらいにやるのが丁度いいと思います。学生の最大の特権は「時間」があることだと思っています。社会人になると「仕事」が生活の一部に組み込まれます。〇〇をしたいと思っても、仕事の都合で思ったとおりにできない場面がどうしてもでてきてしまいます。時間は有限であり、二度とは帰ってきません。旅行にいくでもいいし、友達と遊ぶのもいいし、自分のスキルアップのために勉強するでもいいですし、その時に自分が思った“〇〇がしたい、やってみよう”を大切に、あの時あっていたらよかった、とあとになって思わないように過ごすようにしてください。



木南 向平さん

社会福祉学部 社会福祉学科 17期生
平成29年3月23日卒業
勤務先：日本年金機構



北岡 真季さん

教育学部 児童教育学科 3期生
令和2年3月23日卒業
勤務先：倉敷市立茶屋町小学校

Q 現在のお仕事について

倉敷市で2番目に大きい大規模校で現在は2年生の担任をさせていただいています。昨年度までは4年生を2回担任させていただきました。6クラスあるため、クラス間での連携を取りながら授業や行事を進めています。働いて3年目という経験を使って、クラスの仕事だけではなく、学年の仕事や学校全体での仕事に積極的に取り組んでいます。学校全体での仕事では、学年を超えて交流する機会を作るペア学年活動の内容を考えたり、道徳の授業を考えたりしています。

Q 資格取得など、現在の目標 (将来の夢)

学校が楽しいと思えるクラスづくりをめざしています。私はよく、朝の会で自分のたわいもない話をします。楽しかったことや失敗したことなど日常のとりとめの話です。子どもは特に先生の失敗談はとても大好きです！そんな話を大事にしています。また、子どもたちの話をよく聞いたり、全力で一緒に遊んだりして毎日

過ごしています。子どもから「先生おもしろい」「クラスが楽しい」と言ってくれている姿を見るととてもうれしくなります。私の担任しているクラスの児童は30人です。30人はいろいろな性格の子どもがいます。中には、よく叱られてしまう子どももいます。しかし、叱られてしまったこともあったけれど、帰りの「さようなら」の挨拶の時に「今日は楽しかったな」と思えるようにして家に帰るのが今の目標です。

今は、発表会に向けてクラス全員で合奏の練習をしています。友達と一緒に休み時間を使って鍵盤ハーモニカや楽器の練習に一生懸命取り組んでいる姿はとてもキラキラしています。そんな子どもたちと一緒に過ごすことができるととても幸せです。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

いろいろな経験をすることです。ボランティアや旅行、アルバイトでもいいと思います。その経験が将来使えるものになるかもしれません。たくさん経験を学生の期間にしてほしいです。

Q 現在のお仕事について

現在私は小国病院で助産師として勤務し、主に分娩係を担当しています。

分娩期において安全な分娩進行を診断・介助してだけでなく、産婦さんの不安や痛みを和らげ、より主体的に分娩に臨めるような関わりによって産婦さんと二人三脚で赤ちゃんを迎えられるよう取り組んでいます。

産婦さんは大きな不安・恐怖心を抱えて分娩を迎えられる方がほとんどです。専門職として安心感を与えリラックスして過ごして貰えるよう、また、産婦さんにとって後悔のない分娩となるよう主体性を重要視したケアや声かけを大切にしています。

これまで400件以上の分娩を担当させて頂きました。「人生の中で1番の命の危機」とも言われる分娩は100件あって100通りです。何件経験しても常に恐怖心にも似た緊張感を持ち、また、命の誕生を迎えるこの上なく幸せな場面に立ち合えることに毎日大きなやりがいを感じて仕事をしています。

Q 資格取得など、現在の目標 (将来の夢)

現在の目標はアドバンス助産師の資格取得です。そして助産師外来や院内助産の立ち上げが最終的な目標です。これには病院の体制や法律など様々なハードルがあり、実現出

来るかはわかりません。しかしその枠組みが無くとも、助産技術を保証する資格を持ち、妊娠期から助産師が主体となり自律した質の高いサポートが出来るようになればと思っています。医師よりも長い時間関わることになる助産師を妊娠期からより身近に感じてもらい、信頼関係を築いていくことがスムーズな分娩・産後のケアにも繋がると考えています。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

大学生活において大きな壁となる実習ですが、学生だから聞けること、挑戦できることが沢山あります。積極的に取り組み、より有意義なものにしてください。

また、就職してからチームアプローチの重要性を痛感しています。自分の出来ること、出来ないことをしっかりと周りに伝え、事故の無いようチームでの協力が必要です。

学生生活においてもチーム内でコミュニケーションを密にとり、情報共有・相談する癖をつけておくことが重要だと思います。コロナ禍の活動制限においてはなかなか難しい部分かもしれませんが、学生のうちに様々なコミュニティに参加し、コミュニケーション能力を伸ばし、チームで動く環境に慣れておくことが大切ではないかと思っています。



津田 愛花さん

看護学部 看護学科 11期生
令和2年3月23日卒業
勤務先：藤森医療財団 小国病院

ホームカミングデー



10月1日(土)・2日(日)に校友会主催のホームカミングデーを開催いたしました。一昨年、昨年はコロナ禍の影響もあり開催を見送っていましたが、今年度は大学祭の通常開催に合わせて3年ぶりの開催となりました。2日間で100人を超える卒業生の方々が来校し、懐かしい友人や教職員との再会を楽しみました。今年は、イベントなどできませんでしたが、来年は開催できたらと思っています。

関西福祉大学校友会 20周年記念事業

はりま支部研修会 ～参加者の声～

この度、初めて校友会はりま支部のイベントに参加しました。

以前は神戸市の有料老人ホームに勤めておりましたが、丁度コロナウイルスが広がり出した頃に高砂市の司法書士事務所へ転職し現在は主に成年後見制度に関する業務を担当しております。

今回数年ぶりの研修会が開催されるとの事で、播磨地域で活躍されている卒業生とのネットワークを広げたいと思ったのが参加のきっかけでした。フリートークでは初対面の方ばかりでしたが普段中々出会えない同様な職種の方お話をできたり、何かしらの繋がりがある事が分かったりとても有意義な時間となりました。

廣田氏の講演会では従来の考えに囚われず新しい事やワクワクする事を実践し、それを医療や福祉を必要とする人だけでなく地域全体に広げていく会社の取り組みがとても新鮮で興味深かったです。スタッフが考えた多彩な企画を実現する事によって支援者やスタッフの選択肢が広がり、お互いにより豊かな生活ややりがいにつながるという好循環が生まれていると感じました。

人生ロードマップや第二領域の設定では普段具体的に考える事があまりないので、紙に書き出してシェアする事で自己を見つめ直す良い機会になりました。具体的なビジョンが浮かばず書ききれなかった項目もあったので今後自分がどのようになりたいのかもっと掘り下げて考えていきたいです。



高田研究室 イベント報告

校友会20周年記念事業イベントの一環として、社会福祉学部・高田研究室は、児童養護施設アムニティホーム・ルピナス高砂と協働で、2022年11月19日(土)に映画「隣る人」の自主上映会とミニシンポジウムを開催しました(高砂市)。また本イベントは、本学2年生のゼミ活動である「演習・コミュニティアワーⅡ」(高田ゼミ)の活動としても位置づけました。

映画「隣る人」は、虐待等の様々な理由から親と一緒に暮らすことが難しい子ども達が入所する児童養護施設の日常をおったドキュメンタリー映画です。このような上映会を地域で開催することで、虐待予防の啓発や児童養護施設の子供達への理解、共生社会作りに貢献することを目的としました。当日は主に児童養護施設が所在する地域の方が多く参加されていました。

また、上映会後はシンポジウムも実施いたしました。ルピナス高砂の施設長と高田ゼミの2年生がシンポジストとなり、社会的養護で暮らす子ども達の実情やどういったサポートが求められているのかについて討議を行いました。施設の子供達も地域の一員として暮らしていくこと、そのような社会の実現に少しでも貢献できることを願っています。



大学の様子

校友会寄付

赤穂市内限定で利用できるシェアサイクル導入

学生の学外でのクラブ・サークル活動時の移動やお昼休み、授業の空きコマ等の際に利用できる自転車シェアサービス「COGOO」を開始しました。本学の学生・教職員であれば、専用アプリをダウンロードし、簡単な設定を行うだけで利用できるようになっています。

赤穂市内で人気のお店やスポットの紹介も行っており、学生生活の充実と地域の活性化に繋がればと思います。今回、校友会から自転車20台・スマートキー20台を寄贈しました。

また、あったら便利！自転車用電動空気入れを駐輪場に設置しました。こちらも校友会から寄贈し、学生の皆さんに喜んで頂いています。



関西福祉大学 ウォルンターテ

真備町復興支援ボランティア活動



令和4年8月8日～10日、本学社会福祉学部萬代ゼミ15名が平成30年7月西日本豪雨で被災した真備町の復興支援ボランティア活動を行いました。真備町では、高齢者施設クレールエステート悠楽、真備児童館、倉敷市役所真備支所、真備語り部ネットワーク、真備ふるさと歴史館等を訪問。被災された方のお話を伺い、真備児童館では学生が考えた遊びを通して子どもと楽しく交流する活動を行い、元気を届けることができました。

現地では、災害時には支援が行き届きにくい高齢者、障害者、児童の被災についてのお話を伺い、災害時において「人とのつながり」が被災した方の安心感や共助につながり、大きな意味を持つことを知ることができました。そして、被災後に住民同士で情報を共有できるコミュニティをつくること、避難行動要支援者を支える環境をつくること等、災害対策に積極的に取り組んでいることを知り、災害から人や町を救えるのは「人の力（マンパワー）」だと感じました。

現地での活動後は、真備町の魅力についてより多くの人に知ってもらうためのPR動画とマップの作成を通して、魅力を発信することに取り組んでいます。真備町の復興と活性化を応援していきます。

キッチンカー企画スタート♪

現在、コロナ禍で制限されることが多い学生さん達。何かキャンパスライフを楽しむための企画ができないかと、キッチンカー企画をスタートしました♪

令和4年9月から、スイーツメニューを中心に開始し、円形広場周辺など学内で賑わっています。今後も学生サービスの一環として、継続を予定しています。



部活動報告

サッカー部

1部リーグ健闘・初Jリーガー誕生 2年連続総理大臣杯(全国大会) 出場

2019年以来2度目の挑戦となる関西学生サッカーリーグ1部の舞台。強豪ひしめく12大学の中で前期リーグは8位(4勝5敗2分)、後期リーグは5位(3勝2敗3分、10/30現在)の通算7位と、しっかりと勝点を積み上げて1部残留をほぼ確定させています。攻撃的なスタイルを貫き、どの相手にもボールを握って試合を進めることができ、今季のスローガンである『果敢』を存分に表現しています。今後さらに上位進出していくチームになるため、残りの3試合も勝利を目指して全力で戦います。

そんなチームの健闘を支える谷本駿介(社会福祉学科/4年)選手は、愛媛FCへの2023シーズン加入が内定しました。サッカー部創設後初めてのJリーガーの誕生であり、今後の活躍にも期待がかかります。また、谷本選手は第100回関西学生サッカーリーグ1部において「優秀選手賞」及び「アシスト王(11アシスト)」のダブル受賞という快挙を成し遂げました。

スポンサーは1社から2社に増え(どちらも市内企業)、ますます地域の皆様とのつながりが強くなりました。クラブ理念である『地域とともに歩む』こと、「選ばれるクラブ」を目指して今後も活動して参ります。



陸上競技部

初の日本インカレ出場

陸上競技部は2018年に指定強化クラブとなり、2020年度よりスタッフ体制を強化、本格的に始動しました。現在はスタッフ2名(監督、コーチ)、マネージャー3名、競技者30名で活動しています。2021年度に女子4×100mリレーで初の日本インカレ出場、女子走幅跳で初の関西インカレ1部入賞を果たしました。2022年度にはU20日本選手権において、男子三段跳で銀メダル(2位)を獲得し、本学の全指定強化クラブを通して初の全国入賞という快挙を成し遂げました。また、11月には初となる丹後大学駅伝(男子)への出場も果たしました。

部のモットーは「一流のアスリートである前に、一流の人間であれ」を掲げ、あくまでも学業を最優先にしっかりと取り組む「Student-Athlete」を徹底し、学内で学業・スポーツなど全てにおいて模範となるよう日々精進しています。来年度には部員が50名を越える見通しで、学内だけでなく地域においてもますます存在感が大きくなるため、自分たちの立ち居振る舞いに対して、より一層気を引き締めていきたいと思えます。

今後とも、陸上競技部へご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



女子バレーボール部

1部リーグ9位&全日本インカレ初出場

女子バレーボール部は、2018年の創部以来一度も負ける事なく関西大学バレーボール連盟女子7部から1部まで昇格を果たしました。そして、今年初めて戦った1部の舞台では、2部との入れ替え戦を経験するなど苦しい時期もありましたが、年間総合順位で関西11位となり、創部初の「全日本インカレ」出場権を獲得しました。

現在、部員数は63名おりますが、クラブ連盟登録の「関西福祉大学ウェルフェアーズ」というチームを立ち上げて、部員全員が“スタメン”として頑張っています！

V1チーム「ヴィクトリーナ姫路」との包括連携協定締結により、ヴィクトリーナ姫路所属の山本彩香コーチが常駐で戦術やスキルの指導をして下さっています。また、社会福祉学部・准教授で陸上競技部監督の熊野陽人先生にジャンプトレーニングをご指導頂き、ジャンプ力向上に取り組んでいます。選手の体のケアには、久保整形外科クリニックから理学療法士の黒田崇之さんに来て頂いています。企業からのご支援として、マルイチ株式会社・アース製薬株式会社・赤穂化成株式会社にスポンサーをして頂いております。

このような体制で、日本を代表する選手の輩出と全日本インカレ優勝を目指して日々活動しております。皆様のご声援、何卒宜しくお願い申し上げます。



卓球部

パラ卓球国際大会で上位入賞

本学学生の北川雄一郎さん(社会福祉学科/2年)が9月に行われた2つの国際大会で上位入賞しました。まず、9/8~10に行われたフィンランドパラオープン2022の男子シングルス クラス2-3(車いす)において第3位となり、銅メダルを獲得、続く9/30~10/2に行われたグreekパラオープン2022でも同クラスで6位入賞となりました。北川さんはパラ卓球 男子クラス3(車いす)の世界ランキングが50位(2022年10月1日付)となっており、2024年にパリで開催されるパラリンピック出場に期待が高まっています。



剣道部

全日本学生剣道優勝大会・ 創部初男子団体ベスト8

第70回関西学生剣道優勝大会にて創部初の男子団体ベスト8となり、第70回全日本学生剣道優勝大会に出場いたしました。結果は、1回戦関東ベスト8の早稲田大学に一对一の代表戦の末、惜しくも敗退いたしました。男子学生(団体)日本一を決める大会で、緊張感のある中、正々堂々とした試合でした。

また、第52回関西女子学生剣道選手権大会においては、喜多山瑞希さんがベスト16となり、第56回全日本学生剣道選手権大会では、ベスト32と健闘しました。



お知らせ

日本学生支援機構奨学生であった卒業生の皆様へ（日本学生支援機構からのお願い）

在学中のさまざまな機会で開催を行い、資料を配布していましたが、改めて（注意喚起）のためにお知らせさせていただきます。

皆様の返還金は、在学中に設定したリレー口座からきちんと引き落とされていますか。口座振替の手続きを行っていないため日本学生支援機構から請求書を受け取って、まだ支払いが済んでいないようなことはありませんか。もう一度、ご確認ください。

万一、返還が困難な場合は、返還期限猶予制度や減額返還制度などの仕組みがありますので、〈日本学生支援機構奨学金相談センター〉に電話してください。ご相談の際には、奨学生番号をお忘れなく。

奨学生であった皆様の返還金は、次の奨学金の原資となります。皆様の後輩学生のためにも、皆様に格別のご留意をお願いする次第です。

日本学生支援機構奨学金相談センター

電話 0570-666-301

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話

専用ダイヤル 03-6743-6100



詳しいことを知りたいときは▶

地域連携フォーラム 養老孟司先生の講演を聴いて

令和4年度の地域連携フォーラムが関西福祉大学で11月20日に養老孟司先生を講師にお迎えし、3年ぶりに開催されました。赤穂市・備前市・上郡町の地域の方々でいっぱいになった会場で、「今、しあわせに生きるということ」で講演が始まると、養老先生節で会場が引き込まれました。ゆっくりとした口調で、納得のいく内容で約90分間があったという間の時間でした。その中で、「来るときには来る災害のために、自立しておくことが重要である。どんな災害が来ても自分が自分なりに自足できるように考え、そのようにしておくこと。また、人が少ない状況（今後の日本は人口減である）の中、災害で物が不足していても不服を言わず満足する心（気持ち）をもつことが大切である。」との話が印象的でした。災害が来ることを他人事にせず、自分事になると必死になり災害をどう乗り越えるかを夢中に考える。夢中に考えることはしあわせなことであると私は解釈しました。

養老先生は「自然に謙虚になれ」とも話されました。現在、環境破壊からSDGsの取り組みが求められています。様々なことを自分事として捉えることが、しあわせに生きていく秘訣である、と考え深い思いです。



“オープンキャンパス” たくさんの卒業生に 参加いただきました。

2022年度は5月から9月まで全6回のオープンキャンパスを実施し、約70名の卒業生に参加いただきました。また、12月に開催の冬のオープンキャンパスにも大学案内掲載卒業生を中心に参加いただきました。高校1・2年生を対象としており、早期に大学を体感することで、将来への目標が見つかるきっかけとなり、それにより早い段階から大学進学に向けてスタートを切ることができるアドバイスをいただいています。

関西福祉大学を卒業後は「こんな社会になれる」とリアルに感じていただけるよう卒業後の姿や仕事について理解を深める内容や大学入試の不安を払拭するようなイベントを実施したいと考え、福祉・教育・看護の現場で活躍する卒業生に多数参加いただいております。ご協力いただいた卒業生の皆様、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いたします。

卒業生との座談会

社会福祉学部と教育学部の3年次生を主対象とした就職支援プログラムのひとつに、卒業生を中心とした現職者の方々から仕事のやりがいや就活についての話を聴く就職座談会を実施しています。今年度の就職座談会には、様々な分野で活躍されている9名の卒業生にお越しいただきました。

在学生は、公務員、福祉施設、医療機関、社協、一般企業など自身が希望する分野の座談会を選択して参加します。先輩たちの実体験にもとづいた貴重なお話を直接聴くことができるこの会は学生たちから大変好評で、「視野が広がった」「早めに活動しようと思う」「資格はちゃんと取っておくべきだと強く思った」など参加した学生たちが前向きに就活に取り組むことができる、良い刺激となっています。また、今年は2年次生の参加も多く、早くからの情報収集や職業研究にも繋がっています。

ご協力いただいた卒業生の皆様、ありがとうございました。

引き続き、キャリア・就職支援に協力してもいいという方は、キャリア開発課にご連絡ください。



ひとくちメモ

- 開学 / 平成9年(1997年)4月
- 開設(大学院) / 平成21年(2009年)4月
- 学部・学科 / 社会福祉学部・社会福祉学科 平成9年(1997年)4月
看護学部・看護学科 平成18年(2006年)4月
発達教育学部(現:教育学部)・児童教育学科 平成26年(2014年)4月
発達教育学部を教育学部と改称 平成30年(2018年)4月
教育学部・保健教育学科
- 大学院 / 社会福祉学研究科 平成21年(2009年)4月
看護学研究科修士課程 平成24年(2012年)4月
看護学研究科博士課程 平成29年(2017年)4月
教育学研究科 平成30年(2018年)4月
- 教員数 / 専任79名(助手含む) ●在学生数 / 1,445名
- 卒業生数(学部) / 累計5,896名 ●卒業生数(大学院) / 累計67名
令和4年11月30日現在

HP・異動報告のお願い等

姓名・住所・電話番号・勤務先等の変更がありましたら、校友会事務局までお知らせください。変更手続きはHPサイトからも可能です。

▼PCサイトはこちら



住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会誌等)が未着となりますので、必ずご連絡くださいますようお願い致します。

結婚式祝電サービス



ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りします。

個別校友会助成のご案内

卒業後も集まろう!



関西福祉大学校友会では、同期会・サークルOB会等に、助成を行っています。懐かしい先生に会いに来て、ゼミ会をすることもできます。ホームカミングデーに併せて、クラス会をするのも大歓迎!是非、個別校友会活動助成をご利用ください。

お問い合わせお申込みは右記までご連絡ください TEL 0791-46-2715(校友会事務局) メール koyukai@kusw.ac.jp



令和5(2023)年度 関西福祉大学大学院 入試概要 ※詳細は学生募集要項でご確認ください

研究科名	入試区分および試験科目	日程	出願期間	試験日	合格発表日
社会福祉学研究科 【修士課程】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学内推薦入試: 小論文・面接 ■ 一般入試: 英語・専門科目・面接 ■ 社会人入試: 小論文・面接 ■ 社会人キャリア推薦入試: 口頭試問 	Ⅱ期	1/25(水)～2/8(水) 消印有効	2/18(土)	2/24(金)
教育学研究科 【修士課程】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般入試: 専門科目(学校教育学一般)・面接 ■ 社会人入試: 小論文・面接 	Ⅱ期	1/25(水)～2/8(水) 消印有効	2/18(土)	2/24(金)
		Ⅲ期	2/23(木)～3/1(水) 消印有効	3/11(土)	3/15(水)
看護学研究科 【博士前期課程】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般入試: 英語・専門科目(看護一般)・面接 ■ 社会人入試: 小論文・面接 ■ 社会人キャリア推薦入試: 口頭試問 	Ⅱ期	1/25(水)～2/8(水) 消印有効	2/18(土)	2/24(金)
看護学研究科 【博士後期課程】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般入試: 英語・小論文・口頭試問 	Ⅱ期	1/25(水)～2/8(水) 消印有効	2/18(土)	2/24(金)

見学・相談会を随時実施(オンライン可) 【お問い合わせ先】入試センター: 0791-46-2500

入学金・授業料の減免制度等について ※詳細は学生募集要項でご確認ください

制度名	対象課程	減免対象	減免・給付内容	減免期間等
大学院入学金 全額免除	大学院	関西福祉大学卒業生および修士課程・博士前期課程修了生	入学金を全額免除	入学時のみ
関西福祉大学大学院への 進学者授業料減額特例制度	大学院 ※看護学研究科 博士後期課程 は除く	A 以下のいずれも満たす者 ・ 関西福祉大学卒業生 ・ 成績優秀者であると認められる者	授業料の1/2を減額	入学より2年間 (長期履修の場合3年間)
		B 経済的な理由で年間学費の全額負担が困難な者	授業料の1/2を減額	入学より2年間 (長期履修の場合3年間)
関西金光学園卒業生子女 特別奨学金給付制度	学部・大学院	関西金光学園の設置する学校(関西福祉大学(大学院含む)、金光藤蔭高校、金光大阪高校、金光八尾高校、金光八尾中学校)を卒業した者の子女が、関西福祉大学(大学院を含む)に入学したとき	入学金の 1/2相当額を 給付	入学時のみ
関西金光学園兄弟姉妹 特別奨学金給付制度	学部・大学院	2023年度入学試験に合格した入学志願者の兄弟姉妹が次の①または②のいずれかに該当しているとき ①兄弟姉妹が関西金光学園の設置する学校(関西福祉大学(大学院含む)、金光藤蔭高校、金光大阪高校、金光八尾高校、金光八尾中学校)に在籍している(2023年3月卒業含む) ②関西金光学園の設置している学校の2023年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し、合格後2名以上が同時に入学する	入学金の 1/2相当額を 給付	入学時のみ

関西福祉大学 校友会報 第40号

●発行日 令和5年1月16日
●発行所 関西福祉大学 校友会
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
Tel. 0791-46-2525(大学代表)
Tel. 0791-46-2715(校友会事務局)
Fax. 0791-46-2526(大学代表)
e-mail: koyukai@kusw.ac.jp

◎次号は2023年7月発行予定!!

●大学 HP <https://www.kusw.ac.jp/>
●校友会 HP <https://www.kusw.ac.jp/kouyukai/>
●校友会 Facebook <https://www.facebook.com/kuswkouyukai>
●校友会 Instagram https://www.instagram.com/kusw_kouyukai/